

# 第45回 中国曹洞宗青年会山口大会開催

日時：11月16日(水) 13:00～ 会場：KDDI 維新ホール

山口曹青かわら版

令和3年度後期号

# 大叢林

山口県曹洞宗青年会

会長 栄  
清木 玄

事務局  
山口市黒川1483 土田 裕明  
☎ 090-6835-4307

HP  
<http://yamaguchi-sousei.org/>



## 《大会テーマ》

題字・宗務所 所長 荒木玄修老師 筆

# 而今

## 『今を生きる安心』

今大会ではテーマを『而今』(じんこん)『今を生きる安心』とし開催致します。

「而今」とは禅語で今この瞬間のことを指しますが、私たちはこれを自然災害などをはじめとした何が起るかわからない将来への不安と付き合っていくための大切な手段のひとつと考えました。

講師には前半部に福島県龍徳寺住職の久間泰弘老師

をお招きし、『非日常を生

きる』被災地からの伝言『』と題し、曹洞宗復興支援室分室主事として東日本大震災をはじめ、全国各地の被災者の方々へ支援を行ってきた経験をもとにお話頂きます。

後半部では看取りについて宗教者としていかに向き合うべきかという思いから、緩和ケアの権威であるすえなが内科在宅診療所院

長の末永和之先生をお招きし、『生と死の現場から思うこと』と題し、看取りを通し生と死に直接向き合ってきた経験をもとにご講演を頂きます。

また令和五年に十三回忌となる東日本大震災の慰霊法要を厳修し、幕間には山口曹青が宗務所から引き継いだ東日本大震災現地支援活動部の活動報告を放映します。詳しくは後日発送致しますご案内、チラシをご覧ください。

## 振り返り：前回の山口大会

第三十九回開催の山口大会は『一如』(いじゆ)『心と同じくし一船に乗るが如し』とし開催しました。

初日は心の大学講座併催で、復興支援舞台『イシノマキにいた時間』の映像上映と、この舞台を脚本・演出された福島カツシゲ氏と石巻在住の写真家鈴木省一氏を招き当時と現在の石巻のお話を頂きました。

二日目は僧侶・寺族を対象に開催し、復元納棺師として東日本大震災時にも活動され、また遺族の方へグリーンケアも行ってきたこれらた笹原留以子氏に『復元ボランティアと呼ばれて』東日本大震災の安置所から』と題し講演を頂きました。

詳しくは山口曹青HPの曹青かわら版平成二十八年後期号をご覧ください。



## 令和三年度 下半期事業



### ● 緑蔭禅のつどい

令和三年度の緑蔭禅のつどい事業として、近年参加された方に写経用紙を送付して返送して頂きました。  
三月三十一日時点で合計四十一部を返送頂きました。

## その他の活動

### ● 残ろう支援

茨城県にある「取手市障害者福祉センターふじしろ」様へ残ろう約十二kgを送付致しました。同センターでは作業の一環として残ろうを再利用した着火剤作りをしています。

ろうを安定的に入手することは難しく、大変喜んで頂きました。



今回送付した残ろう。  
洋ろうのみ受入れて色は問わないそうです。

## 災害支援金送付

### ● 全国曹洞宗青年会様

※三月に発生した東北地方の地震については令和四年度の事業として対応する予定です。

## タイ山岳少数民族教育支援活動

| 要 項        | 募 金      |
|------------|----------|
| 寺院募金       | ¥109,170 |
| 県内各団体      | ¥130,000 |
| その他クラフト販売  | ¥7,500   |
| 振込募金 (12件) | ¥46,000  |

R3.11.1 ~ R4.3.31 まで